

シャロンの花だより

25期主題：新しい歌を主に向かって歌おう

●● 喜び・祈り・感謝と共に ●●

「あなたのしようとするを主にゆだねよ。

そうすればあなたの計画は揺るがない」箴言 16章3節



巻頭言

『愛に歩む』



「さて、婦人よ、あなたにお願いしたいことがあります。わたしが書くのは新しい掟ではなく、初めからわたしたちが持っていた掟、つまり互いに愛し合うということです。」

ヨハネの手紙 II 5節

私にとって教会は日曜日の遊び場の一つでした。母がクリスチャンだったからです。幼馴染が集まるように教会

に通っていました。そのルーテル大阪教会は物心付いた頃には「ホテル・ザ・ルーテル」という宿泊施設が併設されていました。

教会学校の礼拝は、主日礼拝の後、午後12時30分頃から行われていました。大阪教会は大阪城とNHK大阪放送局の近くにあり、教会の子ども達は、時には大阪城公園やNHK放送局の無料特別展示に行くことはありましたが、大抵は「ホテル・ザ・ルーテル」内で遊び、そのうち程度が過ぎて、しょっちゅう大人に怒られていました。

こどもにとって、帰宅時間のどんどん延びる教会の会議は非常に長いものと感じられました。牧師になって、その当時の会合の議事録を調べてみると、その文面から内容が推察され、「悪さをして会議を中断させて申し訳なかったな」と思ったりもしました。と言いますのも、その時期、大阪の四條畷の「るうてるホーム」について訪問スケジュールなどの話し合いがなされていたと思われるからです。

母は教会からの帰りに、しょっちゅうその話をし「牧師先生夫妻の終の棲家をつくったんやで」とか「わたしも歳をとったら、ここに入るから覚えときや」と繰り返していました。そして実際に、両親ともにお世話になりました。

「るうてるホーム」は1954(昭和29)年の京都教会の婦人会で提案された多目的宿泊所の発想から始まりました。その案は関西地区婦人会に広がり、やがて教会の声として「牧師未亡人の老

飯田教会牧師：朝比奈 晴朗

後のご苦勞をなんとかしたい」と変わって行きました。

その思いが実って1965(昭和40)年、軽費老人ホームとして「るうてるホーム」の運営が開始されます。大部屋の収容施設ではなく、完全個室で自立した生活を送れる画期的な施設でした。

しかしルーテル教会が他に先駆けて取り組んできた様々な社会的働きは、やがて社会の中に埋もれて行きます。働きを維持していくためには公費の補助を仰がなければならず、宗教性を薄める必要があったのです。るうてるホームにしても、いつの間にか教会と施設は運営の支障がないようにと分断され、関西在住の牧師達によって日曜の午後礼拝は行われているものの、当初の「宣教」という目標から少しかけ離れてしまったように思います。

聖書が記すように「この世の子ら」は非常に賢いので、キリスト者が始めた社会的な良い業はいつの間にか横からさらわれ、主イエスの教えは抜き取られます。「キリスト教主義」と言う働きの原動力が認識されなくなれば、施設や保育園、幼稚園で、関わる職員の方々に、共にみ心を聞く礼拝への誘いが「パワハラ」と言われてしまう恐れすらあります。

そのような中であって、私たちはさらに賢く、たくましくあらねばなりません。一人一人が遣わされた持ち場で何が強制的にはならず最善かを考えるのです。数少ないクリスチャンとして、地の塩として、挫けることなく祈り、他者に仕えることが神から求められています。神の掟を情緒的な愛ではなく、キリスト者として各個教会に集められた者同士の意味として貫いていくことが私たちの使命なのです。

ープロフィールー

1967年生まれ。日本福音ルーテル大阪教会出身。1999年に按手を受け、神戸教会・神戸東教会、熊本教会・荒尾教会、玉名教会、名古屋めぐみ教会・知多教会、飯田教会を歴任。

趣味：ブロック系パズルの作成や解明、廃材を使っての大工、ギター。

* 今期役員会の活動方針 *

主題:新しい歌を主に向かって歌おう(前Ⅱ期から継続)

副題:喜び、祈り、感謝と共に

聖句:『あなたのしよとすることを主に委ねよ。』

そうすればあなたの計画は揺るがない。』

世界中、日本国内の全てで新型コロナウイルス感染に揺れる2年目の春、4月17日に東京教会礼拝堂を会場に役員就任式(対面+オンライン)が執り行われました。初めてづくしの中で緊張感もありながら、今ひとつ現実味が足りない妙な感覚の中、25期役員会がスタートしました。

「誰一人取り残されることなく、イエス様という葡萄の木に連なる一房として一人一人が繋がり、祈りを紡いでいく」意味を込めて今期のシンボルマークをデザインしました。皆異なった色・味・形・香りの一粒一粒

が、それぞれしっかりと枝に結びつくメッセージです。

私たちは会員の減少、若手会員の未加入、役員となり手不足など明らかに以前とは違う状況に戸惑いながら今期役員会は「互いができることを用いて、できないことの部分を補い合い、ワンチームとして働く」を合い言葉にしています。今迄も、そして今足りないもの(事)は、このままでは増えはしないのだから、この状況を少しでも工夫して進んでいこう。どこかに隙やチャンスがあるはず…と。

どの女性会/教会も少なからず同じ様な状況下で考え行動していることでしょう。コロナ禍に揺れる今だからこそ、アンケートを通じて広く教区で繋がるみなさまへ「私たちはどこへ向かおうとしているのか」を、あらためて問いかける形で「それぞれの思い」をキャッチ



* 葡萄の房の一粒一粒:役員会の今 *



神庭 靖子:会長

ベ テランの方たちの中、私でよいのかという思いがありましたが、「すべては神様の御手にある」と信じて会長をお引き受けしました。甲信地区から会長が出ることは前代未聞、当初連盟役員の方たちは、私が東京在住だと信じておられました。私にとって会長職は、幼児からいきなり社会人になったようなもので、一から十まで教えていただきながら務めています。でもやり始めてみて、コロナ禍のこの時だからこそ、神様は私を選ばれたのではないかと思うようになりました。集うことができず、教区や本教会でもオンラインが活用されるようになり、交通の便の悪い地域在住という私のハンデの1つがなくなったのです。新しい風が吹き込まれるよう一粒のブドウの実の役割が果たせたらいいな、と思っています。どうぞよろしく願いいたします。



島田 洋子:副会長

今 期教区女性会の副会長の役をさせていただいております。任期交代までお役に立つかどうかわかりませんが、女性会のみなさまのお力を借りて、楽しく務めてまいりたいと思っております。私達キリスト者にとって大切なことは、何と言っても宣教という役割があります。一人でも多くの方にキリスト教とはどういうものなのか、また教会は聖書の「みことば」を学びながら楽しい憩いの場所であることも、教会を知らない方々に理解していただけるように恵み深い神さまと共に励んでまいりたいと思います。そのような意味で、各教会の女性会一人一人の役割は大きく意義深い集まりであると思っております。力不足ではありますが、今後共よろしく願いいたします。



菅野 奈美:文書

25 期の文書の仕事を与えられました。牧師先生や講師の原稿を依頼し真っ先に目にする幸運を頂いております。第1回「春の会長会&女性会の集い」の奨励を書いてくださった中村朝美牧師は、「今日という日はこれからの人生の中の初めの日、スタートの日」とおっしゃっていました。未来に不安を覚えてばかりの私でしたが、それを聞き勇気づけられました。秋の「第2回秋の女性の集い」では、浅野直樹Jr.牧師は、雨宮神父の著書の中のヘブライ人の話を通して、神様が過去にくださった事を感謝して、未来を背にし神様に手を引いて頂き、後ろ側の未来へと歩くと話されました。25期一同も神様に掴まれた安心の中で、祈り合い、楽しみ喜んで進みたいと思います。

ボールし続けよう、それを途切れること無く試みようとしていきます。

長引く不要不急による自粛で「従来通り」が通用しない現在、新しい礼拝や伝道の試みと、習慣化されてきた物事を多様な視点から見直すことが求められています。結果として、ウィズコロナやアフターコロナを考えることは、私たちの活動の進化へ追い風となっています。

●女性会が歩んで来た長い道程、歴史と伝統を考慮しながら、どんな新しい歌を歌っていくのか。

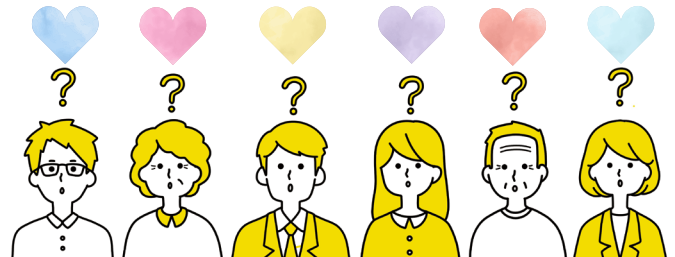
●今と次世代へ、どのようなあり方が魅力ある活動体となり得るのか。

●教会員の半数以上を女性が占める状況で「女性会」の意味は。

●かつて社会で小さくされてきた“女性たち”からジェンダーの身近な課題を捉え直すことが大切ではないか。

●私たちの身近な居場所から隣人へ：個教会、地域、共同体や教区、日本全国、またアジアを始め世界へ主の眼差しを求めながら、祈りと共に行動できるように。

●小さな事も大きな事も楽しむ気持ちを持ちながら。



八木 久美:連盟

薔 薇の木に 薔薇の花さく。なにごとの不思議なけれど。
 当たり前(のはず)のことが、当たり前ではない不思議と恵み…。生きることは思いもよらない出会いの連続と理解した気になりながら、新型コロナウイルスの出現により様変わりした社会の中で、この詩の意味を再確認する日々です。世界は本当に不思議な出会いに満ちている(女性会の不思議もありますが)。個教会、教区、協力委員、連盟、超教派のみなさんと主にあって繋がる意味の深さを日毎に思わされる者です。主のなさることや人との出会いとその不思議を味わいながら楽しく挫けず新しい歌をHallelujah!と歌いつつ、祈りつつ、一緒に前進したいと願っています。



牧野 正子:書記

2 2021年私の嬉しかったこと、神奈川県立小田原養護学校湯河原校舎が17年間要望を続け9月に開校したことです。様々な障害を持つ子供達が往復40km(片道1時間)スクールバスに揺られることなく安心して地域で学べます。2つ目は老眼鏡をかけても読み難かった聖書と賛美歌が左目の白内障手術後、はっきり見えるようになったこと、3つ目は運転免許を更新できたことです。
 コロナ禍25期役員の方々とお会いできたのは、秋の集いの時だけでした。都会から遠くに居るからこそ、今だからこそ出来るご用があるに違いない。教会の皆様と冊子送付係を引き受けました。これからも主が折にかなった素晴らしい働きをお示しくださるに違いないとワクワクしています。



滝沢 峰子:会計

役 員をお引き受けしましたが、初めての「経験」であり、常に「暗中模索」の状態かも知れませんが、ただ、歩み出して感受したことは何でも「勉強」になると強く思ったことです。
 知らないことでも、知って理解していくこと。知らないよりも、覚えていくこと。
 新たに挑戦できると思考をプラスに変えて行こうと思っています。
 また、新しい「お仲間」に参加できたことも喜びです。多大なる不安の中、皆様に支えられながら、何よりも、神様のお支えを拝受して、日、一日を重ねて行こうと考えております。
 どうか健康でありながら、ひとつ、ひとつ、進めたらと思っています。今後とも宜しく願いいたします。

—6/9 第25回女性会連盟大会・講演から—

「人生百年に向かって」潮谷 義子先生の講演を聴いて*

市ヶ谷教会*菅野 奈美

60年間社会福祉の中で過ごされた潮谷先生は、小学生の時に近所に来たバプテスト教会に足を運んだ時に色々な方々から「いらっしゃい」と声掛けされたことをきっかけに、加來國生先生から洗礼を受け、中学時代まで通いました。やがて熊本県知事に就き、川辺川ダム、ハンセン病、水俣病など、国と地方が対峙する重い課題の中では、常に重荷を負っている側に立って考えていましたが、裁判という出来事で気付けば権力の側におり、本当に悩まれました。心境としては「神様、あなたが私に従って来なさいと仰ったのに、どうしてこんな目にあうのか?」。

その時杉本先生から聖書のみ言葉「あなたが私を選んだのではない。私があなたを選んだ(ヨハネ15章9節)」を示され、任命された役割なら果たさなければと気付き、弱者側に立ち戻られました。

そして重い課題を抱え、祈る事が出来ない時に「人生の中では祈れない事もある、そういう時聖書には、かく祈れとあるよ」と加來先生から、主の祈りを示されました。年を経て苦痛で祈る言葉を見つける事が出来ない自分にとって、なんと恵みの言葉かと実感されたそうです。

社会福祉の問題の中で多くの子ども達が生まれ育ち、高度成長を支える時代目前の1963年ルーテル教会信徒の潮谷愛一氏(潮谷先生のご夫君)は、老人福祉法制定という大きな仕事を成し遂げた、とも言われています。さて、日本の平均寿命は女性87.5歳、男性81.4歳と長寿国ですが、自分で身の周りの事が出来るという健康寿命は女性が71.2歳と短く身辺自立が困難になる時期は女性で13.2年、男性は10年。これからは、健康寿命を伸ばすことが重要になっていきます。

2000年にスタートした介護保険法は要支援・要介護とそれに応じたサービスメニューの違いから、理解が難しいが、以前は多くの女性が介護のため自分の職場やキャリア・時間を捨て、子育てもすることから女性が様々な政策決定の場に参加出来ない状態が長く続きました。それが今は、社会福祉法制定から介護保険法が出来るようになり、女性の社会進出に大きな変化が生まれました。

さて2025年には団塊の世代が75歳を迎え、国民の5人に1人が75歳、3人に1人が65歳以上を迎える年となります。自分がどのような生き方で死を迎えるかを家族全体で話し合う「人生会議」の重要性、牧師先生とどのような関係かも含めて自分の意思を明確にすることが大事であると、お母様の看取りの体験から話されました。そして、かつては当たり前だった、ご近所との垣根越しの付き合い、おかずのお裾分けの文化が今こそ必要で、沢山負い過ぎず、一人一人がやれる事(熊本弁で、出来るしこ)を果たすことが高齢化の中の暮らし易さに繋がってゆくと説いています。

米国のケネディ家(注:第35代ジョン・F・ケネディ大統領の家族)のお姉さんに知的障がいがありました。庭で同じ障がいを

持った人達が来て皆さんスポーツでイキイキしているのに気付く「あなたは神様が特別に創ってくださった存在です」のメッセージも込めて、スペシャルオリックスは世界に広がった(日本は熊本県から)そうです。

そうして知的障がいの人達と接して学ぶ事のなんと多いことか!北海道の知的障がい者施設の院長先生が本の中で、施設の子どもが周りの人に「平等って分かる?私は分かった」と言って「皆お母さんのお腹から出てきた。これが平等よ」これを読んで感動しました。

どんな状態でも母親から生まれてそして神様が私達のために命を捧げてくださったように、子どもは母親から全面的に愛されているという自己存在感が最も重要で若い母親には、優しい言葉、優しい微笑み、優しい眼差しが不可欠ですと訴えています。また、誰もが使い勝手の良いユニバーサルデザインを全国に先駆け熊本県で導入していきました。

◆ 教会の在り方についても、初めての方にとって(文字が小さくて)聖書を読む事が出来ないとか、牧師先生のお話、時として私の苦しみを知っているのでは?という説教に出会う事も沢山あるが重荷を抱えた方が初めて教会に来た時に、そういう言葉に出会うと、捉えられて離されることはありませんが、難聴の方は傾聴が保証されているでしょうか?。ツールである聖書が役に立たなければ残念ながら、足が遠のきます。新しく来た方は、今までの教会のやり方に合わせなさいとなっていないか?。また、LGBT(レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー)の方を迎えて、教会員として共に生きてゆく事を牧師先生を中心に議論が必要な時代が来ていると投げかけています。

◆ 講演を拝聴して、潮谷先生は60年間社会福祉の世界で、一貫して社会的弱者の方々に寄り添う姿、そして体験を通じたその言葉に強く胸を打たれました。また、高齢化社会に教会員としてどのように向き合うかという事や、クリスチャンとしての生き方へのヒントも頂きました。

◆ その中でも、自分が一番、自分の考えこそが正しいと声高に述べて、相手の考えを否定する人達と幼少の頃から、今に至るまで数多く出会いました。相手を否定するのが嫌な私は、その度に傷ついてきました。そんな私にとって、相手の心を尊重し「優しい言葉と微笑みと眼差し」が大事なんだという部分は、自分の考えを認めてもらったようで、とても救われました。

◆ また、「主の祈り」が恵みの言葉かと実感された事についてですが、「われらに罪をおかすものをわれらが赦すごとく」の一節を、主人が「とても難しいなー、内容にもよるけど、無理だなー」とよく言っています。でもそこは永遠の努力目標として神様の前に素直に頭を垂れば良いのかなと思いました。

◆ 最後にこの講演に何度も涙を流しました。感動をありがとうございました。

【第25回連盟総・大会 講演会YouTube配信のお知らせ】～日本福音ルーテル教会女性会連盟ホームページより～
潮谷義子先生の講演「人生百年に向かって」はYouTubeにて配信しております。

講演会は以下のURLをクリックするとご覧になれます →https://youtu.be/iidCMOYHz_Y

講演会のレジュメはこちらをダウンロードしてください →https://www.jelc-w.org/soukai/25/resume_25.pdf

潮谷先生のプロフィールはこちらをダウンロードしてください →<https://www.jelc-w.org/soukai/25/profile.pdf>

●潮谷義子氏:プロフィール

1953年6月21日 佐賀バプテスト教会で受洗

1962年4月 佐賀県庁に就職

1964年1月 潮谷愛一氏(当時別府平和園勤務)と結婚
結婚を機に大分県庁へ

1972年3月 熊本へ転居し社会福祉法人慈愛園乳児ホーム
で働く。後に乳児ホーム施設長。

日本福音ルーテル神水教会へ転会。

*熊本県副知事、知事を経て、私立大学学長、母校の日本社会
事業大学理事長を務める。2018年より慈愛園理事長。

●主催 日本福音ルーテル教会女性会連盟

日時 2021年6月9日

講師 日本福音ルーテル神水教会

潮谷義子 テーマ「人生100年時代…未知の時代の到来」

I. 高齢者とは…「私」の場合

1.多様な姿…数字でたどる高齢者…別紙参照

①還暦…60歳 ②年金受給開始…65歳 ③高齢者医療負担
1割負担 75歳 ④平均寿命(2019年現在)、健康寿命
87.45歳 ← 女 → 74.2歳 81.41歳 ← 男 → 71.2歳

⑤高齢化率(2020年9月現在)

日本 28.7% イタリア 23.3%

2.人口減少・少子高齢化同時進行の日本

3.日本は「黒船」時代より脅威の中にある

(フランスの学者 エマニュエル・トッド氏のことば)

II.介護保険法施行から20年

1.2000年(H12)4月実施

2.施行の背景

- ①性差(男・女)に基づく役割分担
- ②家族の介護負担の基盤の弱体化
- ③男女共同参画社会基本法制定(1999)
- ④女性の社会進出
※子育て環境の貧弱 → 少子化要因
- ⑤介護保険法の評価 別紙参照



III.課題

2025年問題、2040年問題とは

(1)「団塊の世代(1947年~49年生れ)」すべてが75才以上を
迎える。国民の5人に1人が75才以上、3人に1人が65才以上。
有病率が高い。

※地域包括ケアシステム

2025年を目途に重度な要介護状態になっても住み馴れた地
域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来
るよう「住まい、医療、介護、予防生活支援が一体的に提供」
する地域ケアシステムの構築。

(2)75才以上高齢者の全人口に占める割合が2040年には20%
を超える予想。団塊シニア世代が65才以上になる。

・社会保障費、介護ニーズの社会的課題。

・働き手不足、財源不足。

・単身世帯は総世帯数の39.3%を占める。

・2050年頃には20%の地域で無居住化。

※支え手減少社会…子どもの数40年連続で減少

・無縁社会

ピンピンコロリの死 → ヨタヨタヘロヘロ(樋口恵子氏の表現)

※介護の姿

・老々介護、認認介護、介護離職

60才以上同士 74.2%、75才以上 33.1% ヤングケアラー、ダブルケア

(3)高齢者虐待

防止法 2005年(H17)11月成立、2006年4月施行

責任窓口 市区町村

◆ 誰が? ・養護者(息子、嫁、娘、伴侶等)

・施設職員 ※ごく近い人、遠い人

◆ 虐待種別…身体的、心理的、ネグレクト、経済的

・認知症問題

◆ スペシャルオリンピックスに関わって学ぶこと

(4)ハード・ソフト両方から考える視点

◆ ユニバーサルデザイン

◆ SDGs“誰一人とり残さない” Sustainable Development Goals

◆ 教会は…?

◆ 過去の肩書きにとらわれない

◆ 年齢輪切り型思考にとどまらず

◆ “老”働力

◆ ACP…?

◆ (アドヴァンス・ケア・プランニング)

◆ “人生会議”と厚生労働省は応募の中から命名

◆ どんな人生の終わり方をしたいか

◆ 本人、医療関係者、家族(ときには友人)

◆ ケアチームを入れての話し合い

◆ ※繰り返し意志確認

◆ ※生命の主人公は「私」という認識

IV.地域共生社会をめざす

(1)女性会連盟主題

ローマの信徒への手紙 6章8節

「神の恵みによって共に生きる」

(2)血縁から社会的縁へ

(3)支えられる・支えるの相互性

・人権、平等

北川聡子著「子育ての村ができた」より

・貨幣的価値の追求から生命の価値へ



●女性会連盟ホームページへアクセスが難しい方へ
抜粋した内容を掲載しています。

アンケート集計 見えてくる女性会・教会の“今”…本当は何だろう？

女性会で長く話題となっている「少子高齢化、ジェンダー、世代間ギャップ、若者の教会離れ、組織の硬直化傾向」などは、教会や社会が直面する共通の課題です。コロナ禍が及ぼす生活の広範囲に亘る活動制限下で、今期女性会役員会は今できることな何かを考えアンケートを実施。多くの方が回答してくださいました。これから“集うこと”の意味が問われる今だからこそ見えてきた「本音や課題」を女性会・教会全体で共有し、一緒にウィズコロナやアフターコロナの展開へ繋げていきたいと考えています。

回答者・19教会、他教会、無所属

■現状/改革に肯定的 ■要望 ■ジェンダー関連 ■年代の影響 ■コロナのマイナス影響

[Q.4] 東教区女性会の活動について

■協働は信仰の友を育み、委員経験も喜びへ ■神さまにあっての繋がり ■ルーテル教会は男性会員が少なく、女性が複数の役割を担い感謝 ■東教区女性会が頑張ってる ■役員への教会が労いを ■具体的な役員の働きかけで、少し気持ちが動いてきた ■地区女性会、役員、会員の交流を深めたい ■災害支援等はとても有意義 ■活動は地味でも、女性が自主的に活動可能 ■ボトムアップで声を吸い上げる活動は有意義 ■女性会、壮年会、青年会の区分け無しで深い活動を ■性自認に於いて気軽に入れる女性会を ■教会で一緒になのに「女性会」はなぜ別？ ■今やジェンダーフリーの社会情勢で区別は不要 ■男女2項目式設問の書類に違和感あり、今回の記入方式が良い ■男女雇用機会均等法制定から35年経過、男女で分ける時代は終了 ■教区活動部門で男女統一は ■聖書は父権社会を肯定。この話合いも ■男性会がないのは何故？ ■教会員へ活動内容が良く伝わらない ■青年会卒業者、既婚者・40代のイメージ ■女性会を括るには大き過ぎる ■活動の意義を理解しても仕事との両立が難しく負担感も。 ■仕事、教会、家事で手一杯 ■平日/土曜は大変。主日礼拝後の参加へ ■活動内容・規模・方法は時代や状況変化へ柔軟な対応を ■役員への苦労話は不要 ■女性会の現役世代の意見を ■個人主義の昨今、共同意欲が希薄化 ■継続維持が困難な時代に ■役員以外、情報入手が大変 → 関心は薄くなる ■牧師は牧師。妻も一個人であり教会運営も難しい。働く女性が増加、他教派教会で熱気ある教会が ■教区会員数は100名程度減少化 ■東教区は東京中心の活動、地方教会は参加しづらい ■甲信地区信徒大会など全体集会も大切 ■期によって振幅があり活動の硬直化も ■提案は都度吟味が必要 ■役員受任の負担から休会・脱退の教会が増加 ■役員選考方法を会員間で再考、工夫し役員の負担軽減を ■役員会を隔月に、前期役員は数ヶ月はアドバイスを ■会員(十人十色だが)が関心を持てる活動内容を ■コロナ禍で活動が難しい。ポジティブに無理なく参加出来る活動を ■コロナ禍で「女性会活動」にフォーカスできない ■コロナ禍の終息まで現在活動計画はない ■ITが苦手な方へサポーターを ■何歳から女性会？何歳までユース？ ■ここ数年(85才を過ぎて)不参加なので分からない ■目標・目的がなく、70・80代でも元気ならば参加できる印象 → ルーテル教会の青年ライン(35歳迄)の参加は、ハードルが高く方向性の混乱も ■様々な年齢層が気軽に楽しめる企画を ■会長会・女性の集いは区別して集まると良い(協議内容も違う) ■会員数減少の危機意識より、今いる方々と活動する女性会を ■毎回討論ばかりでつまらない。2回の内1回はコンサートなどで楽しい一時を ■「楽しそう、行ってみたい！遊びの要素

も」 ■会員へ届く内容で理解が深まり、密接な繋がりが持てる ■教会員、特に女性たちに他教派や教区内の他教会の活動の理解を ■会員の意見が表に引き出される工夫を

[Q.5] 女性会の名称について

■婦人会が良い ■女性のアイデンティティも必要 ■コロコロ変えないで ■信徒間の繋がりが婦人連盟だった由 ■麦の会、○○の会などexマリア会 ■活動を制約する ■名称変更+組織の位置づけも ■女性会員が多いのに教会運営は役員男性？ ■次世代との関係から変更を ■多数が女性である中、敢えて名乗る必要は？ ■男女共同参画の中、分別には無理がある ■変更の時期である ■変更名称は聖書から ■入りやすい名称を ■目的別で変更 → 男性参加、活動内容で ■男女共の活動 → LGBTQの問題もある ■変更と共に活動見直しも ■婦人会連盟～女性会連盟へ10年を要し辞易

[Q.6] 会費について

■活動費が良い → 口数でも(基本一口) ■妥当である ■連盟会費の支援献金先の検討を ■会員のために使って欲しい ■活動内容に応じた金額で ■現状のあり方で会費納入の意味は？ ■会費納入が新規参加の妨げに ■年金生活者には厳しい ■教会女性会の参加者間で会費あり、無しの場合、「女性会」理解度に違いが ■連盟分が多く個教会分が少ない ■支払いが厳しい ■会費の金額が分からない ■教区部会なら教区予算で賄える活動を ■委員会交通費予算が大きい ■教会女性会として高額 ■会費納入人数で総会出席人数の増減は不可解 ■徴収する際に負担感あり ■教区・連盟会費を低くできないか ■気力・体力・年齢を考え中途半端はいやで辞めた ■個教会の維持献金の他に会費/活動費は年金生活者には厳しい

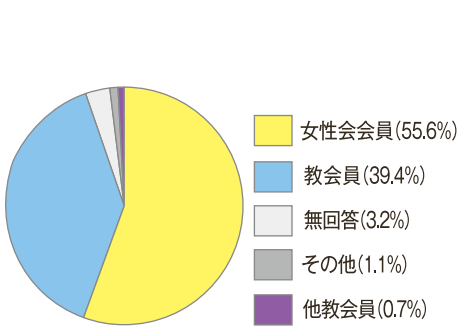
[Q.7] 協力委員、関係機関について

■活動は有意義 ■活動は大事、女性・子ども・社会的弱者へ目を向け取り組みたい ■ルーテル教会に属する者として関わる意義を確認する工夫は大切 ■教会パワハラを学びたい ■組織への眼差しがないと“自分教会ファースト、身近な周囲のみファースト”になりがち → 関心ある人へ情報提供を ■宣教師に支えられた日本 → 世界へ発信する大切さ ■会員へ説明が難しい ■女性会のみならず教会、共同体、宣教・世界的視野も必要 ■詳細が分からない ■協力委員の積極的な情報提供を ■女性会独自では無理がある → 教区活動として男性も関わりを ■義務ではなく、賛同が基本 ■委員以外には分かりづらい → 各活動を纏めたリーフレットを ■会報掲載は限界あり → HPの拡充を ■何度も会長会に参加して活動報告のみ、内容が分からない

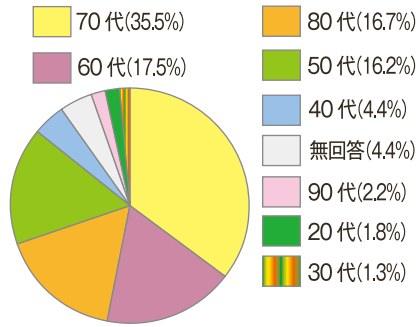
(P8へ続く)

アンケート集計グラフ

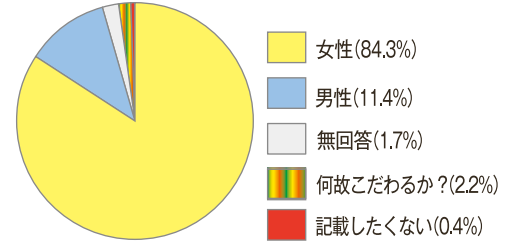
女性会・教会の“今”を可視化すると…



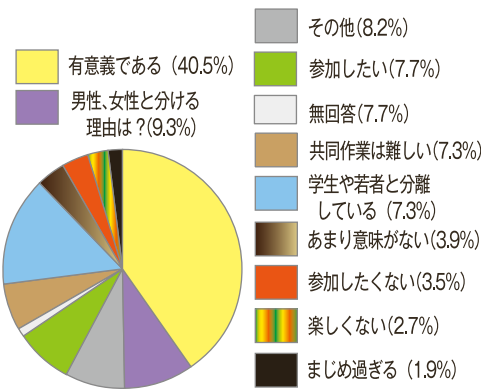
1. 所属教会 (総数 277)



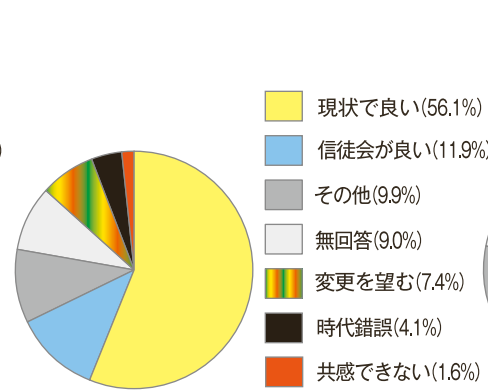
2. 年代(差し支え無ければ) (総数 228)



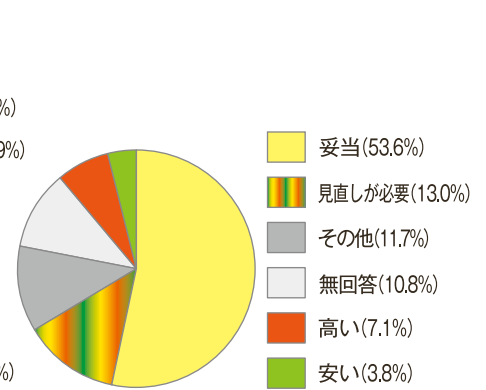
3. 性別の記載 (総数 236)



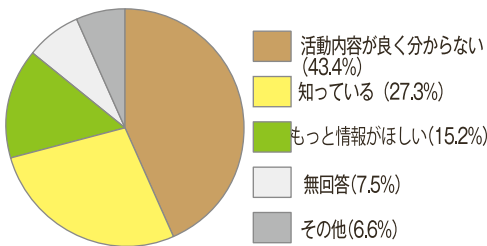
4. 東教区女性会の活動は (総数 259)



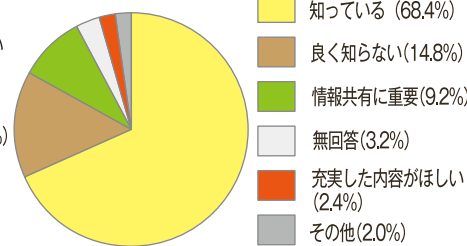
5. 女性会の名称 (総数 244)



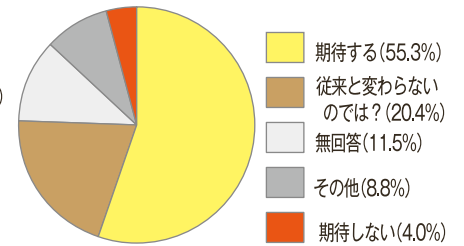
6. 会費 (総数 239)



7. 協力委員や関係機関 (一部掲載) (総数 198)

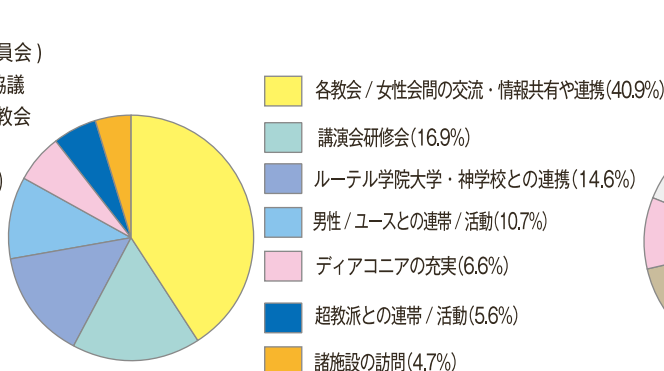


8. 会報「シャロンの花だより」 (総数 250)

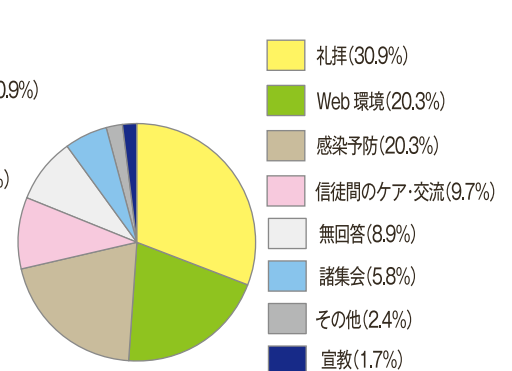


9. 25 期教区女性会に期待することは (総数 226)

- ◎いつくしみ
- ◎ACWC(アジア教会婦人会議日本委員会)
- ◎NCC 女性委員会(日本キリスト教協議会)LWF/WICAS(世界ルーテル連盟「教会と社会における女性」部)、
- ◎TNG 委員会(次世代育成プロジェクト)



10. 今期 3 年間で取り組むべきこと、ご希望など(総数 301)



11. コロナ渦での教会や教会共同体、地区の活動、取り組みの工夫は (総数 414)

アンケート集計 見えてくる女性会・教会の“今”…本当は何だろう？

回答者・19教会、他教会、無所属 ■現状/改革に肯定的 ■要望 ■ジェンダー関連 ■年代の影響 ■コロナのマイナス影響

【Q.8】会報「シャロンの花だより」について

■情報共有、宣教伝道に不可欠 ■各世代間、富める人、貧しい人へ温かな信仰の語り場 ■やや窮屈な機関誌が多い中で唯一、優しく読みやすい情報掲載 ■楽しく講読 ■カラー写真が多く毎号楽しみ ■休会中の教会とも誌面上で交流を ■紙面に北海道だよりが欲しい ■充実するには内容決めが大変 ■紙質が良過ぎ？ 郵送料が嵩む？ ■制作担当者の負担軽減を ■あまり関心がない ■タイムリーな発行へ ■女性会が教区部会になると(会報は)不必要 ■シンプルな内容を ■心引かれる内容を ■問題提起をもっと

【Q.9】教区女性会に期待すること

■アンケートが活かされるように ■若い力に期待 ■過去に囚われず自由に ■横の繋がりや情報が重要。高齢化の中で役員に感謝 ■各教会が交流できるきっかけ作り ■学び・訓練・宣教 ■コロナ終息後に期待 ■諸々の働き/交わり/人となりに歪みが見れる中、受け入れてイエスに繋がる ■全信徒対象でプロジェクト別の再編も ■会の目的の明確化を常に ■過去に囚われず活動を ■19期頃から現在の状況は予見されてきた。25期こそ教区含め連盟と共に(連盟が本体なので)信徒会:信徒運動体へ本気で変わる検討を

【Q.10】今期3年(2年)で取り組むべきこと・ご希望について

■日本ルーテル神学校、ルーテル学院大学は教会が建てた学校。献身者と献財を出す活動を ■教職者数の減少もあり、個教会間の情報交換を ■神学校、神学生を覚えて祈る ■女性聖職者のバックアップ ■デジタル環境にある人・ない人への情報共有、連携、橋渡しを ■家族が会員なので本人の教会生活の充実を ■SDGsの学習と実践 ■コロナ禍でアンケートは時期尚早 ■時節柄、活動を休止を

【Q.11】コロナ禍の中で教会/共同体/地区での取り組みについて

■オンライン礼拝参加可能(CS礼拝も) ■感染対策を講じ短縮礼拝/2部式礼拝 ■短縮礼拝で聖研と交流に努めている ■海外からも参加のZoom礼拝 ■週報/役員会報告/諸会報/誕生カードの郵送 ■オンライン役員会/各委員会 ■CSのLine礼拝、YouTube英語礼拝・11時礼拝 ■信徒間のメールや電話の交流/安否確認 ■メールで説教/式文を配布、祈り会の実施 ■礼拝堂の座席の減数 ■緊急事態宣言下のオープンチャペルの実施 ■自己責任の折、身を挺した働きに感謝 ■教会員同士の語らいや笑顔が見られず残念 ■礼拝以外の諸活動は休止 ■聖餐式の休止 ■讃美歌は小さい声で ■信徒間のケアが殆ど牧師まかせ

【Q.12】あなたの教会/共同体/地区のとおきは？

■美しいステンドグラス、礼拝堂 ■改築間もないので綺麗 ■パイプオルガンの荘厳な奏楽に感謝 ■教会が地域に溶け込んでいる ■ダントツに綺麗な礼拝堂 ■教会入口前がポケモンスポット ■マスク作り ■オリジナルカード作りの収益を主の業に用いている ■牧師がスバラシイ(広い心、優しさ、分かり易い説教) ■時節柄、教会内限定でリサイクル衣料販売 ■教会の静謐さ、信仰の強さ ■JCCMジャパン・クリスチャンケア・ミニストリーを通じ教会内外のケアを希望する人へ面談、メール、手紙、電話での寄り添い ■礼拝説教のアーカイブが充実-常時視聴可能 ■教会学校の子どもが多く

充実 ■連盟の聖書研究を壮年会・青年会と共に ■礼拝後の昼食、聖研や色々な方のお話やティータイムの和やかな会合 ■いずみ教会共同体(市ヶ谷・スオミ・むさしの)の交わりと学び ■ZoomでCSや聖歌隊練習 ■社会的指導者、経験者 ■多くの信仰の先輩から学べる ■コロナ禍もユースの活動を継続中 ■プレイヤー(祈りの)ショールの会の活動 ■青年が多く活発に活動 ■素敵なお女性会会員が多く会話が楽しい ■女性会会員同士の連携による助け合い ■菊川保育園、バタニヤホームの働きの良き理解 ■教会と施設の連携で地域への(宣教と奉仕隣人に仕える)理解者が教会員で増えている

【Q.13】ルーテル教会、女性会、その他へ～自由記載

■礼拝重視なので、奉仕や諸活動は義務でなく喜びを持って ■教会・社会的弱者を支える意見を出し合える活動を ■女性会ならではの証明も ■高齢化、家族、教会内の婦人活動で精一杯だが維持を希望 ■毎回の後継者選び難で、今後の継続は可能？ ■自ら名乗り出る人財で運営を ■コロナ禍に工夫した活動に賛同 ■個教会女性会を大事に育む連盟の働きを ■戦後、焼け残った教会を探して大阪教会(現天王寺教会)へ。言葉に生きた改革者ルターとの出会いに感謝 ■ルーテル教会の「み言葉、恵み、赦しを」を大切に ■「今」を精一杯生きたい ■コロナ禍に苦しむ社会的弱者へ支援の姿勢を ■「共にある教会」としてジェンダーの課題や人々へ寄り添いを ■女性会連盟と教区女性会で、全信徒会:信徒運動体へ変わる取り組みを ■女性会連盟、教区女性会は、新たな共同体のディアコニアを考え教会全体の信徒活動体への改革が必要 ■女性会がイニシアティブを取り男性やユースの参加を促す活動体を ■次世代を担う信徒の減少が心配、交流を ■若者へ繋げたいが自分の子・孫へ伝えられない ■役員会の基本活動以外に自由参加のボランティア活動も

アンケートのご協力をありがとうございました。みなさまの今の声と思いを大切に現状をしっかり受け止め、祈りを合わせ、課題に取り組ませていただきます。

8月 第1回「春の会長会&女性の集い(書面開催)」*

*各教会女性会/会員へ第1回・第2回用冊子を発送しました。内容:役員挨拶/奨励:中村朝美牧師(八王子教会)/ご召天された姉妹を憶えて/各教会女性会長・所属教会連絡先/讃美歌シャロンの花ほか



*ハイブリッド形式の開催:対面・書面

11/6 第2回「秋の女性の集い(ハイブリッド形式開催)」から

秋の女性の集い 湯河原教会*渡辺 晴美

「本年第2回秋の女性の集い」の開催を導き、お守りくださった神様に讃え、入念にご準備をしてくださった東教区女性会の役員の皆様、会場を提供して下さりご奉仕下さったむさしの教会の皆様へ感謝いたします。ありがとうございました。

コロナ禍の中、新しい試みとして、オンラインにより、多くの皆様方と共に礼拝の恵みに預かり、楽しい交流の時間が与えられました。神様に良き香りとして、受け入れられた礼拝だったと信じます。目に見えない神様を、目に見えない電波を介して多くの方々と共に礼拝することが出来る等とは、さすがのモーセもパウロも予想すらできなかったことでしょうか? 「新しい歌を主に向かって歌おう」の主題になって、主ご自身が備えて下さった恵みの手段ではないかと思いました。そして、2年ぶりに召天姉妹を覚える時間が与えられ、その地上における歩みと天における平安を偲び、司って下さる神様の憐れみに思いが至りました。ただ、1時間半の限られた時間の割には、内容が盛りだくさんでもう少しゆとりがあると、各個教会の紹介が出来たのではないかと感じました。ともあれ、祝された一日をいただきました、ありがとうございました。役員の皆様方の当日までの御労が、豊かな祝福へと代えられますように祈ります。



召天された姉妹のキャンドルを囲んで

コロナ禍以前の集いは会場に集合するのが当たり前でしたが、コロナ禍でZoomが出来るようになり、人との繋がりが再開されました。嬉しく思うと同時に戸惑いもあり、それは画面の自分の表情が堅く、何度やっても慣れないからです。こんな思いで参加した集いですが、皆で共有した時間は、心が満たされ懐かしい方々を拝見出来て参加して良かったです。

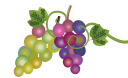
浅野直樹Jr牧師の奨励は大きな励ましになりました。コリントの信徒への手紙1の10章13節は、私が信仰を持つきっかけになった聖句です。

試練の時はつぶやいて励まされてきました。自分で乗り越えているつもりでしたが、違い、見えないけれど神様の導きが始めから備えられていて、後

から気付く事が何度もあります。

8月、11月と左眼網膜剥離手術を受け、現在通院中です。

11月の手術直前に説教を聴く事が出来て感謝いたしました。

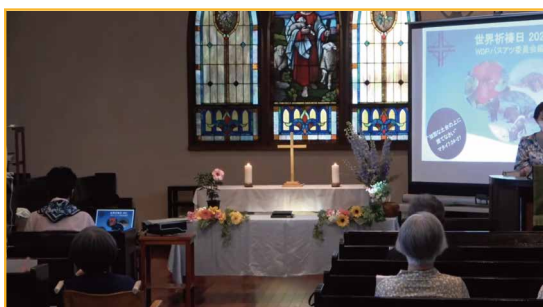


※「神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなされず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます」コリントの信徒へ手紙10:13

7/4 「バヌアツからのメッセージ」～堅固な土台の上に建てなさい～



当日のスクリーン投影 YouTube 画面



礼拝堂とオンライン参加者を繋ぐ礼拝

* NCC世界祈祷日礼拝 @むさしの教会+YouTube配信

7月4日、緊急事態宣言が解除された主日礼拝の後、コロナ禍の2年目の夏、熱い日差しの中、東京杉並区のむさしの教会を会場に超教派による「世界祈祷日礼拝2021」が開催されました。会場からは久々に対面式で7教派のみなさま・ヴィニヤードの会(むさしの教会女性会)26名と、YouTube同時視聴25名による61名の方々が一堂に会してバヌアツ共和国、地球温暖化が及ぼす影響、SDGs等をスクリーン上のスライドデータを視聴し、テキストを読み考え、理解し共に祈る・行動することの大切さを共有しました。

例会担当:八幡潔子さん、中山康子さんと世話人会メンバーがバヌアツの女性に扮して繰り広げた集いには三浦慎里子神学生(2年)も加わり、NCC女性委員会北川恵子委員長の感謝のご挨拶を締め括りとして、明るい雰囲気の中楽しい集いとなりました。

●世界祈祷日礼拝2021当日の様子は、むさしの教会ホームページ、

下記YouTubeアドレスから視聴可能です。

<https://www.youtube.com/watch?v=rt5KpslOmbo>

11/12 「主によって新しくされて」ACWCオンライン一日研修会 * Asian Church Women's Conference in Japan



11月12日(金)午後1時30分-3時 アジア教界婦人会議日本委員会による一日研修会が全国版として開催されました。
 ①13:00 入室開始/オリエンテーション
 ②13:30 ACWC DAY礼拝:式文・聖書朗読・説教朗読・献金の呼びかけ・祈り・アジアのための祈り・パートナー国のための祈り・祝祷
 ③14:15 発題 伊藤世里江師(日本バプテスト同盟)
 ④14:45 活動紹介・ACWCについて・リーストコインの交わり運動・ACWC支援献金 ⑤14:55 報告/閉会祈禱

*説教《はじめに》

『滅びゆく世界のためにイエス様が死んでくださったことに対して、また今日の教会の状態に対して神さまはどのように思われているのでしょうか。このことに心痛みや関心を持たなければ、私たちが生きているこの激動の不確かな時代に、神の家を建てたり、危機感を持って奉仕したりすることはできません。神さまは、今日の教会やこの乱れた世界の壊れた壁に対して、大きな重荷と関心を持つ人々を探しておられます。～今日の教会に欠けているもの、それは、神の恩寵を求めることです。』…このように、礼拝出席者へ直接的な心に響く呼びかけがなされました。

*祈り《アジアのための祈り》《祈りのパートナー国:オーストラリアのため祈り》

*発題《伊藤 世里江師》

日本バプテスト連盟 アジア・ミッション・コーディネーター
 シンガポールバプテスト連盟 シンガポール国際日本語教会牧師。
 東京バプテスト教会で受洗。西南学院大学神学部から米国留学を経て、日本のアジアでの戦争責任、関係性を考えるようになった。

1.日本人としてアジアの地に生活することの意味

- 日本の加害の歴史と身近に向き合うこと

2.シンガポール国際日本語教会(IJCS誕生秘話)

- マダム チャンチンホー 張清和さん
 - 加藤 亨牧師

3.アジアの中の一員として。アジア・ミッション・コーディネーターの働きをとらえて ～遅く生きるアジアの女性たち～

- ブルーミング・ザンさん:ミャンマーの女性
 - サビナ・チャムリングさん:ネパールの女性

4.現在、そして、これから

- ミャンマークーデターとその後。

<アトウトウ ミャンマー支援>渡辺さゆりさん、マキンサンサンアウンさん共同代表 毎週金曜夜9時からZoom祈り会

- シンガポールにとどまって

「和解の福音に生きる」

「主によって新しくされて」

日本人として生まれ、キリストに出会わされ、アジアに関心を持ち、アジアの他の国から、アジアの姉妹たちと共に歩ませていただきたい(伊藤世里江師)。

11/27 NCC世界祈禱日オンラインプレ集会 * イングランド、ウェールズ、北アイルランドからのメッセージ

世界祈禱日 2022

わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている

北アイルランド、ウェールズ、イングランドからのメッセージ

2022 世界祈禱日

オンラインプレ集会

日時: 2021年11月27日(土)

ZOOM: 午後2時30分~4時 (操作説明2時15分から)

主催: NCC(日本キリスト教協議会)女性委員会

2022年の式文作成国はイングランド、ウェールズ、北アイルランドです。テーマは「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている」(エレミヤ書 29章1節~14節)

コロナ禍の中、実情もどのような状況になるか不透明ですが、世界祈禱日開催のために、それぞれの法や工夫をとるに考え、実施するために具体的な事柄について、話し合います。今回はZoom開催です。全国からご参加いただけます。

参加方法: 事前の申し込みは不要です。ZOOMアプリをダウンロードし、ZOOM ID: 882 8098 8034 とパスワード: 232323 を入力または添付のQRコードから

※方: YouTubeでご覧いただける日曜祈禱所のホームページいたします。委員会 前高 薫 NCC女性委員会 委員長 北村雅子

わたしたちの国

ユニオンジャックは英国と北アイルランドの公式の旗です。

ウェールズの旗

イングランドの旗

イングランド/バラ ウェールズ 西洋ネギ (スコットランド・アザミ) アイルランド・クローバー

国民一その多様性と移民

ウェールズ・ケーキ

マッシュピーズ付きフィッシュ&アンドチップス

11/28 「お元気ですか」東京老人ホームを訪ねてプレゼント贈呈*

市ヶ谷教会*菅野 奈美

東京老人ホームに、クリスマスプレゼントとして、髪飾りのシュシュでも良いでしょうか?と事前に尋ねたところ、長い髪の方もいるので喜ぶとお話がありました。市ヶ谷のマルタの会では、三密を守り、和やかな雰囲気の中で作り上げたシュシュを前に写真をぱちり。

その後、東京老人ホームの担当の方へ贈呈式となりました。とても喜んでくださり、東京老人ホームのホームページに載せてくださるとのことでした。各教会からいろいろなプレゼントが届くことを祈りました。お邪魔した時、3階建ての中で1-2階は要介護

度の高い方がいらっしゃるとのことでした。その方々でも、レクリエーションでは、書道なども積極的になさり、編み物も昔取った杵柄で、要介護が進んだ方も集中して編んでいるとのこと。皆さんが各自出来る事を楽しんでいるとの話を聞いて、施設全体から自由でおおらかな温かさを感じました。

そして又、コロナ禍中について質問してみました。同じ建物の中でも、要介護度が違うために、同じ施設の中で階数が異なる場所に離れて住んでいるご夫婦もいるとのこと。でも“窓越しに会えるんです”と聞いたとき、主の恵みだと思いました。



手から手へ 広がるシュシュ編みの輪@マルタの会



ボランティア担当 清水さんへお渡しして



たくさんの女性会から届けられたクリスマスカード、リース、オーナメントの数々(一部掲載)

12/15 “手帳/カードの宅配便” 神学生を訪ねて聖餐夕礼拝の恵み*

むさしの教会*八木 久美

2021年春から教会実習中の三浦慎里子神学生(2年)に、神学生全員へ直接来年の教会手帳とクリスマスのメッセージカードをお渡しできるか打診したところ、「(私たちも)めったに一堂に会する機会がないけれど、この日なら大丈夫です!。月に一度の神学校聖餐夕礼拝があるので良かったらいらしゃいませんか?」と嬉しいお誘いが返ってきました。

日が暮れた静けさの中18時過ぎの夕礼拝。仕事を切り上げ家人と伺ったチャペルには奏楽者、アコライト、チャプレン、説教者、神学生6名に学院生、事務スタッフが数名。師走の気忙しさとは別格の静かな時間に身を浸し「クリスマス…みなさんは何か嬉しく心待ちにしている人が多いと思います。しかしそのイメージとは逆にこの世の一番暗い闇の中に、ひとつの光りが灯されたということです。その光は決して賑やかで楽しく浮かれたものではなく、細やかなものでした。その光をしっかりと受け取ること」。宮本牧師が語るメッセージと河田チャプレンの穏やかで力に充ちた司式が進む中、イースター以来久しぶりに聖餐の恵みに与り、湯口さんのパイプオルガンの調べに乗せて祈りと賛美を捧げました。

礼拝後には想定外のご挨拶の機会も頂き、神学生お一人お一人と談笑しながらプレゼントを手渡しする小さなミッションは終了しました。神学生へエールを送るはずが、忘れられない素敵な

プレゼントをいただきました。どうか主の慈しみと祝福の内に新しい年の新しい歩みが導かれ整えられますように。



神学校のイルミネーション



聖餐夕礼拝後 みなさんと一緒に
前列左から:ネルソン・デーヴィッドさん(2年)、河田礼生さん(2年)、曾我 純さん(1年)、大和友子さん(1年)、三浦慎里子さん(2年)、坂口晴美さん(2年)、筆者、八木(高)さん。後列左から:河田優チャプレン、湯口依子さん、宮本新牧師、学校関係者。*笠井春子さん(3年:は健康教会へ宣教研修中) 2021.12.15

これからの予定・ご案内

● 2022 NCC 世界祈祷日オンライン東京集会

日時：3月5日(土) 午後1時～3時
主催：NCC 女性委員会 世界祈祷日
収録会場：日本バプテスト同盟 日本バプテスト深川教会
下記アドレスからご視聴・ご参加ください。
<https://cloister171.blog.fc2.com/blog-entry-83.html>
お問合せ：日本バプテスト同盟全国女性会関東部会 久保園奈津子迄

● ルーテル学院大学・神学校卒業式 / 入学式

【卒業式】*規模を縮小し卒業生・専任教員のみ参列
日時：3月11日(金)
会場：ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校チャペル
【入学式】
日時：未定
会場：ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校チャペル

● 第59回東教区定期総会・第29回第30回全国総会定期総会

【東教区】
日時：3月21日(月・祝)
会場：宣教百年記念会堂(東京教会)
集会+オンラインZoom→(新型コロナウイルス感染状況を鑑みて変更あり)
【全 国】
日時：5月3～5日(火・水・木 / 祝)
会場：カンファレンスセンター@市ヶ谷
集会+オンラインZoom→(新型コロナウイルス感染状況を鑑みて変更あり)

● 教区・全国総会 開期中のコーヒーショップ

*いつもご協力をありがとうございます。
新型コロナウイルス感染予防策を講じ2020年よりコーヒーショップは休止しています。

● 各教会女性会「会員調査報告」ご協力のお願い

*各教会女性会 会長皆様からのご報告をお待ちしています。
期限：3月1日(火)
送付先：東教区女性会役員会 担当：牧野(書記)迄
内容：各教会女性会 役員 / 会員数・年代別 / ご召天者 / 会報。
(各教会会長→教区役員会→連盟事務局で保管)

● アンケート「SDGs: ジェンダーについて」ご協力のお願い

*各教会女性会 会長皆様からのご報告をお待ちしています。
期限：3月3日(木)
送付先：女性会連盟事務局迄
内容：会報164号SDGs特集「ジェンダーについて」各個人教会 / 女性会 / 各教会の現状をお知らせください。
(各教会会長→教区役員会→連盟事務局で保管)

● Her-stories 行動する女性たの物語 販売のご案内

*LWF/WICAS 協力委員 望月通子さんご翻訳の本書 70部限定
送付先：「教会・女性会長名、ご希望冊数」を女性会連盟事務局迄
事務局より「お振り込み口座番号、個別の送料」をお知らせします。
700円 / 1冊+送料
内容：困難な状況から道を切り開いてきた世界の同胞の歴史。
貴重な信仰の証言集をぜひこの機会にお読みください。

● 各教会女性会「会費納入」ご協力のお願い

*各教会女性会 会計皆様のご協力をお願いします。
みなさま工夫しながら活動されていることと思います。
4月にご案内を発送予定です。ご覧ください。
東教区女性会役員会 担当：滝沢(会計)より

※ご不明の点は教区役員会 各担当役員までご連絡ください



コロナの長いトンネルいつまで? 思い出す故郷仙台での3.11。一日中強い揺れに広がる絶望感。でも立ち直れた、土壇場での皆の絆と隣人への思い遣りと時の流れで。そうね信じましょう、出口はきっと見えてくる。N.K

コロナで活動制限される中、アンケートのお願いで始まる今期のまとめを含む別な形での参加型の会報が出来上がりました。集えない今こそ、役員一同力を合わせて皆様に心待ちにさせていただける会報をお届けしたいと思います。K.K

窓から差し込む陽射しが、日毎に少しずつ伸びてるように思うこの頃。「コロナ」と共に過ごして迷い、悩みながらの一年でもありましたが、差し込む光を信じてまた、日を重ねて行こうと思います。主に祈りつつ。M.T

「いつまでも残るものは信仰・希望・愛です」我が家のリフォームをお願いした大工さんが良い言葉ですね、と何度も声にしていた聖句。このように聖句が世に響き日本に、世界に広がっていくように神さまの恵みを力にして。Y.S

「これからどう変わるか楽しみにしている!」と、男女を問わず皆様がアンケートに協力くださいました。コロナの時代だからこそ、教会をつなぐ情報を発信すべく活動していきたい。休会中の教会もぜひ加わってね! M.M

「笑ってへ 愛しいひと、不穏な未来に手をたたいて、君と君の大切なひとが幸せであるそのために、祈りながら sing a song ~アルデバランより~」今だから伝えたい物・事・思いが心へ響くよう感謝を込めて。K.Y